

平成18年度 学術ポータル担当者研修
—機関リポジトリ構築—

企画発表



関西学院大学図書館

発表者: 有川

<http://library.kwansei.ac.jp/IR/IR.html>

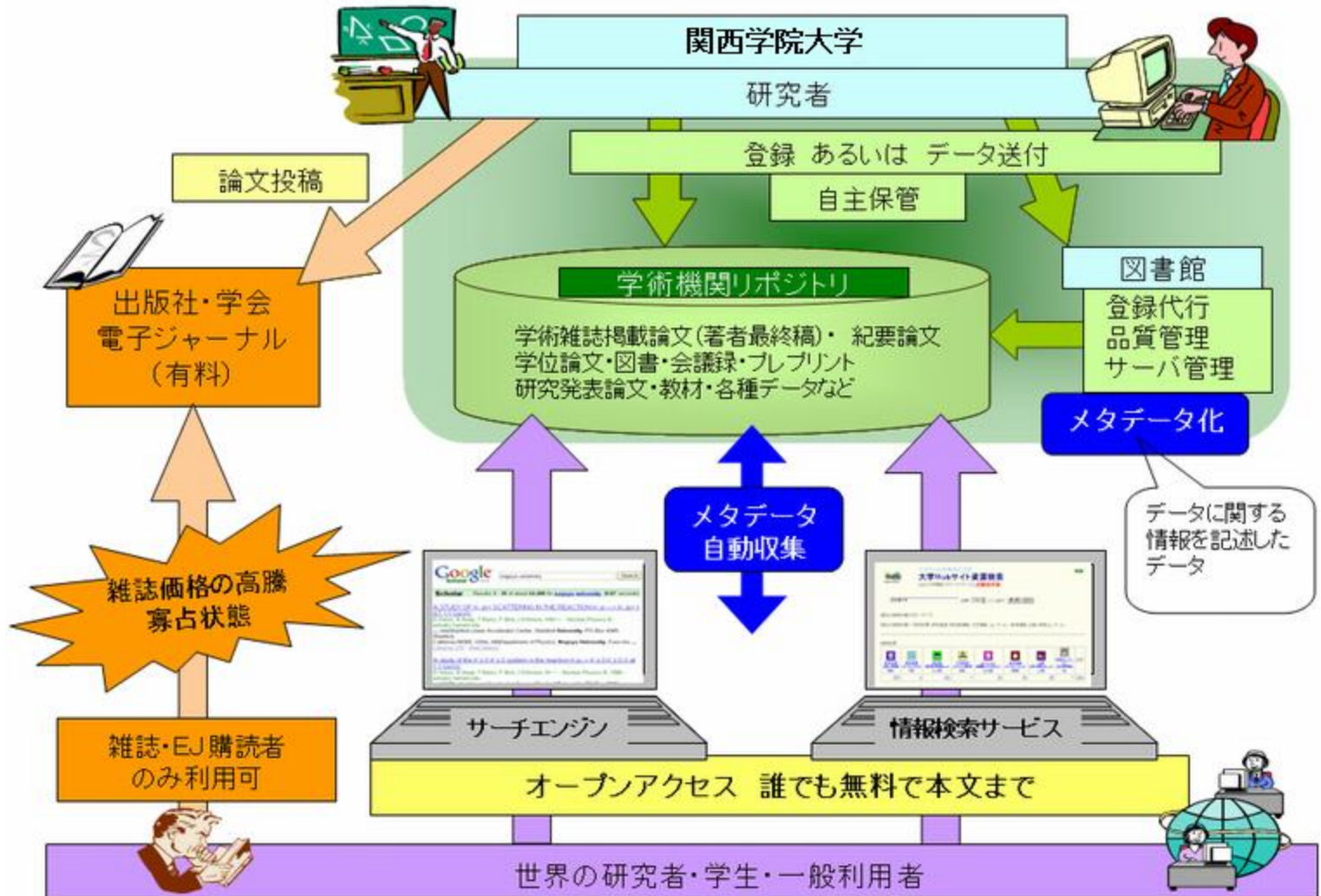
目次

- 関西学院大学学術成果情報発信システム とは
- 構築の経緯
- 登録対象成果物
- 登録することによるメリット
- 先行事例の紹介
- 学術成果情報発信システムに対しての疑問
- 開始時期
- 連絡先

関西学院大学 学術成果情報発信システム とは

関西学院大学において作成された
電子的な学術研究成果を収集し、
恒久的に蓄積・保存し、
学内外に無償で発信するシステム

関西学院大学 学術成果情報発信システムの概要



注記:上記の図は名古屋大学が作成したものを一部加工したものです。

学術成果情報発信システム 構築の経緯

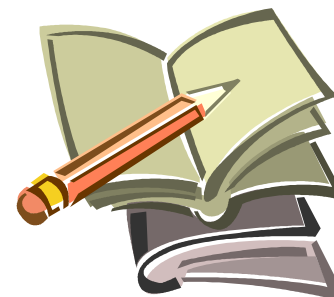
電子図書館の検討 研究業績との連携

- 2004年 全学の情報環境整備委員会
検討事項に取り上げられる
情報システム会議で承認
- 2005年 実施計画検討WG
(副学長リーダー: 図書館・研究推進機構・情報システム室)
- 2006年 実施WG 活動開始
学院の中長期計画に位置づけられている

学術成果情報発信システム

登録対象成果物

- 学術雑誌掲載論文
- 学会発表資料
- 科研費報告書
- 学位論文・修士論文
- 研究紀要論文
- COE報告書
- 教育・研究資料(教材) など



学術成果情報発信システムに 登録することによるメリット

- 1 研究成果を広範囲に発信できる。
(可視性を高める)
- 2 無料でアクセスできる論文のほうが、
多くの人に読まれ、引用されやすい。
(被引用率の向上)
- 3 研究成果を大学側が責任を持って管理・保存する。
(永続的な保存)
- 4 他の大学・研究機関との競争力を高める。

学術成果情報発信システムに 登録することによるメリット

- 1 研究成果を広範囲に発信できる。
(より多くの人が目にする機会を得る
→可視性を高める)

他の検索システムとの連携 Google



JuNii(国立情報学研究所)

など

学術成果情報発信システムに 登録することによるメリット

- 2 無料でアクセスできる論文のほうが、
多くの人に読まれ、引用されやすい。
(被引用率の向上)

[Stevan Harnad. Comparing the Impact of Open Access \(OA\) vs. Non-OA Articles in the Same Journals. D-Lib Magazine, v.10, no.6 \(June 2004\)](#)

学術成果情報発信システムに 登録することによるメリット

- 3 研究成果を大学側が責任を持って管理・保存する。（永続的な保存）

学術成果情報発信システムに 登録することによるメリット

4 他の大学・研究機関との競争力を高める。

大学のブランド力の向上

他大学の先行事例

先行事例

- 北海道大学 : [HUSCAP](#)
- 筑波大学 : [つくばリポジトリ\(Tulips-R\)](#)
- 東京大学 : [UT Repository](#)
- 千葉大学 : [CURATOR](#)
- 名古屋大学 : [Nagoya Repository](#)
- 広島大学 : [広島大学学術情報リポジトリ](#)
- 山口大学 : [YUNOCA](#)
- 九州大学 : [九州大学学術情報リポジトリ\(QIR\)](#)
- 早稲田大学 : [DSpace at Waseda University](#) など

先行事例 北海道大学

北海道大学学術成果コレクション

HUSCAP

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers

Copyright(c) 2005 Hokkaido University Library, All Rights Reserved.



北海道大
HOKKAIDO UNIVERSITY

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers (HUSCAP) >

English Japanese

北海道大学学術成果コレクション(HUSCAP: Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers)は、本学の研究者や大学院生等が著した学術論文、学会発表資料、教育資料等を保存・公開するものです。

[本コレクションについて \(Japanese\)](#)

※本コレクションに収録された学術論文の多くは専門学術誌等に発表されたもので、一部の論文については、著作権上の都合により、著者自筆原稿ファイル(画面上、「author version」と記しています。)を収録しています。著者自筆原稿ファイルは、ピアレビューの完了し学術的内容の確定した段階のものですが、実際の誌面とはレイアウトの相違や、字句校正レベルの異同があることがありますのであらかじめご了承ください。

検索:

検索

一覧:
研究科等 / タイトル / 著者 / 日付

最新登録資料  RSS 1.0



HUSCAPへ
ようこそ

検索

詳細検索

→ ホーム

一覧

→ 研究科等

→ タイトル

→ 著者

→ 日付

本学研究

- * 衛生工学シム論文集
- * 教授学の探
- * 経済学研究
- * スラヴ研究(Studies)
- * 北大法学論
- * 北海道大学育学研究紀
- * 北海道大学研究科邦文
- * 北海道大学研究報告
- * 北海道大学研究所技術部報告集
- * 北海道大学農産物技術部報告集

先行事例 筑波大学



The screenshot shows the Tulips-R website interface. At the top left is the Tulips-R logo with the text "University of Tsukuba Library". To the right of the logo is a link "DSpace Softwareについて". Below the logo is a search bar with a "検索" button and a "詳細検索" link. A navigation menu on the left includes "ホーム", "ブラウズ", "コミュニティ & コレクション", "タイトル", "著者", "日付", "ヘルプ", and "DSpaceについて". The main content area is titled "Tsukuba Repository (Tulips-R) >" and features a prominent announcement: "つくばリポジトリ(Tulips-R)稼動!". The announcement text states: "2006年3月23日、世界でも最大級の機関リポジトリ「つくばリポジトリ(Tulips-R)」が稼動しました。筑波大学の研究成果が、ここから世界へ向けて発信されます！詳しくはつくばリポジトリのページをご覧ください。". Below the announcement is a search section titled "検索" with a text input field and a "検索" button. The bottom section is titled "このリポジトリのコミュニティ" and contains the text: "コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください。" and a link "筑波大学附属図書館 [11123]".

先行事例 東京大学



The screenshot shows the UT Repository homepage for The University of Tokyo. The page features a navigation menu on the left, a main content area with news and announcements, and a grid of resource categories at the bottom.

UT Repository

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

UT Repositoryの検索

東京大学学術機関リポジトリ(UT Repository)とは? [詳しくはこちら](#)

東京大学で創出される世界水準の研究成果のvisibilityと速報性の向上、知識群のOpen Access化、さらに学術と社会の交差を図りつつ、国際的な学術交流に寄与することを目的とした発信拠点です。

お知らせ [過去のお知らせ](#)

2006.5.11 サーバメンテナンスのため、毎日深夜1時から1時30分までユーザー登録などのサービスを停止します。(検索や閲覧は通常通りご利用いただけます。)

コンテンツ

UT Repository の検索
一括検索、学部・大学院・研究所・センター別一覧

- 学術雑誌論文**
学術雑誌に掲載された論文
- 学位論文**
東京大学で授与された博士論文・修士論文
- 研究調査報告書**
科学研究費成果報告書や COE 報告書など
- レポート類**
テクニカル・レポート・ワーキング・ペーパーなど
- 図書**
出版された図書または図書の一部(章や節)
- その他**
その他の研究成果

お問合わせ
東京大学情報基盤センター
デジタル・ライブラリ係
ir-support@lib.u-tokyo.ac.jp

大学Webサイト

先行事例 広島大学




広島大学 学術情報リポジトリ
 Hiroshima University Institutional Repository

[一覧 \(ブラウジング\)](#)
[簡易検索](#)
[詳細検索](#)
[コンテンツの登録](#)
[English](#)
[トップページ](#)
[広島大学](#)
[広島大学図書館](#)

広島大学学術情報リポジトリは
 OAI-PMHにご登録しています

リポジトリとは、学内の教育研究成果物を収集・蓄積・保存し、無償で学内外へ発信する電子書庫です。新たな研究成果発信ルートの獲得・研究成果のビジビリティ(可視性)向上といったメリットがあります。論文・報告書等、コンテンツをお送り下さい！ [詳細](#)

CONTENTS MENU

HEADLINE

- 広島大学学術情報リポジトリ正式公開_06/10/06
- 学術雑誌論文500件突破！ (06/10/04)
- HIR注目コンテンツを掲載しました。(06/09/19)
- 学内刊行物(紀要等)をご登録ください。図書館で電子化を支援いたします。(06/08/09) **締切り延長！！**
- 広島大学図書館ワークショップ「学術情報の新しいチャンネルー海外機関リポジトリの動向をさぐるー」を開催します。(06/07/14)
- サービスプロバイダ から検索が可能です。(06/06/30)
- 学術情報リポジトリを 試験公開しました。(06/04/12)

[過去のHEADLINE](#)
[HIRマークについて](#)

cool HIR注目コンテンツ
第1回 Monographシリーズ
 (理学研究科 山崎勝義先生)

学術成果情報発信システムに 対しての疑問(1)

「よくわからない？」

→ 「学術成果情報発信システム」について
大学図書館のウェブサイトで
ご紹介しています。

<http://library.kwansei.ac.jp/IR/IR.html>

学術成果情報発信システムに 対しての疑問



機関リポジトリについて

学術機関リポジトリ(Institutional Repository)「(以下IRと略す)とは大学内で日々産出される学術研究・教育の成果物、つまり学術論文、学文、教材等の種々の学術情報を著作者自身の手で自機関のサーバに投稿・管理(セルフ・アーカイビング)し、機関内外から自由に閲覧させ(オープンアクセス)システムです。

現在のところ我が国で実運用されているIRの例としては下にあげような大学のものがあります。

- 北海道大学: [HUSCAP](#)
- 筑波大学: [つくばリポジトリ\(Tulips-R\)](#)
- 東京大学: [UT_Repository](#)
- 東京学芸大学: [東京学芸大学リポジトリ](#)(試験公開中)
- 千葉大学: [CURATOR](#)
- 名古屋大学: [Nagoya Repository](#) / [名古屋大学学術ナレッジ・ファクトリー](#)
- 岡山大学: [OU-DIR](#)(準備サイト)
- 広島大学: [広島大学学術情報リポジトリ](#)(試験公開中)
- 山口大学: [YUNOCA](#)(試験公開中)
- 九州大学: [九州大学学術情報リポジトリ\(OIR\)](#)
- 熊本大学: [熊本大学学術リポジトリ](#)(試験公開中)
- 早稲田大学: [DSpace at Waseda University](#)

学術成果情報発信システムに 対しての疑問(2)

「忙しくて…」

→ 大学図書館で代理登録いたします。
電子メールにファイルを添付してお送りください。

容量が大きいものは、記録媒体(CD-Rなど)を
学内便でお送りください。

学術成果情報発信システムに 対しての疑問(3)

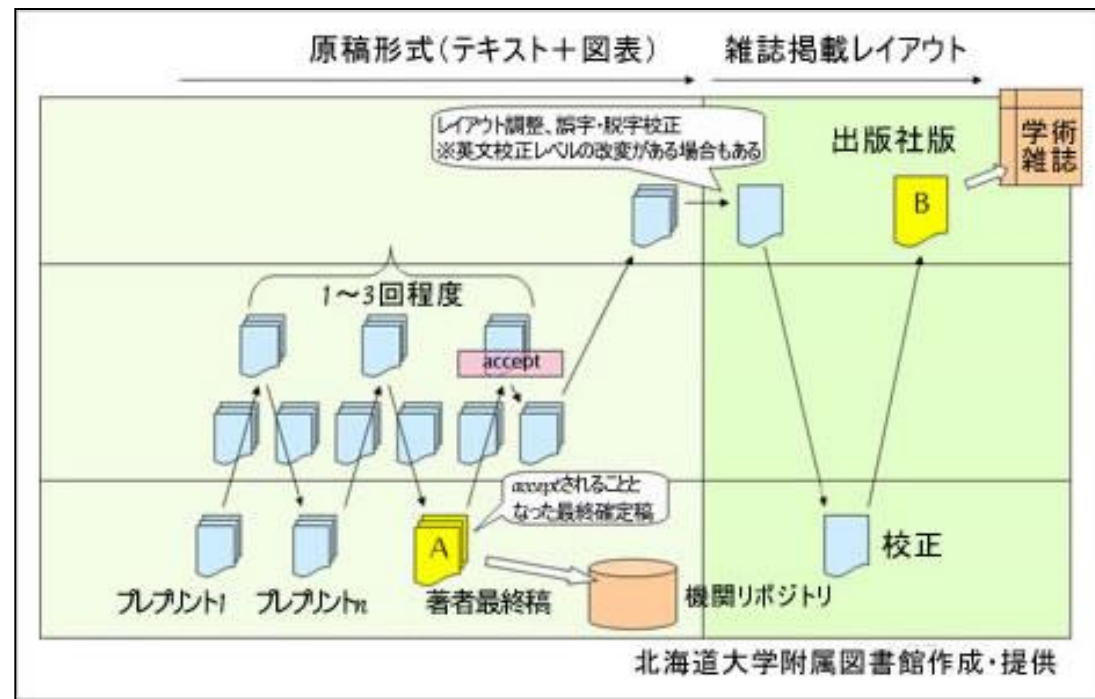
「著作権は大丈夫？」

→ 大学図書館で各出版元の許諾状況をお調べします。

論文の「著者最終稿」の登録については多くの出版社が許諾を与えています。

学術成果情報発信システムに 対しての疑問

「著者最終稿」とは



学術成果情報発信システムに 対しての疑問(4)

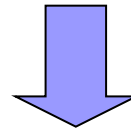
「まだ公開したくない、公開されるのは困る」

→ 公開レベル(公開・内部限定・一定期間非公開)は
選択できます。

※基本的には公開が原則です

学術成果情報発信システムの開始時期

2007年1月から先行登録受付開始



2007年4月より
学術成果情報発信システム
公開

学術成果情報発信システムに関する お問い合わせ先

大学図書館 運営課 学術成果情報発信システム担当
Tel 0798-54-XXXX
内線 XXXXX

個別説明も行います。ご希望のかたはご連絡ください。

ご清聴ありがとうございました。

